

令和 8 年度 社会福祉法人恵康会 事業計画

I. 基本方針

本年度は赤字体質からの脱却と経営基盤の再構築を最優先に掲げ、持続可能な運営体制の確立に取り組んでまいります。社会福祉連携推進法人の枠組みを活かし、業務の効率化と適正化を進めることで、職員が働き甲斐を感じ、成長できる組織づくりを推進します。

II. 重点目標

1. 経営の安定化（稼働率の改善）と財務基盤の確立

■ 収入予算 406,000 千円

（特養 156,000／SS46,700／GH94,000／GH 道 98,600／DS10,100／処遇改善 12,000 含む）

■ 支出予算：326,500 千円

・人件費 242,000 ・事業費 50,500 ・事務費 29,000

■ 収支差額 80,000 千円 （借入金返済 50,000 千円～/年）

目的：赤字からの完全黒字転換と安定的資金繰り体制の確立

2. 人材確保・育成・処遇改善

- ・処遇改善金+1200 万円で、新給与表への移行とパート時給 UP にて採用強化へ
- ・人件費率 77%（予）→59%への改善へ 派遣活用を終了、パート化促進 配置の見直し
- ・特定技能実習生受入での育成と雇用の安定
- ・退職金制度整備（福祉医療機構と法人独自）

目的：持続可能な人件費構造への転換と挑戦できる職員集団の形成

3. 事業拡大と収益強化

- ・DS 新設（収入 10,100 計上）

新たな収入源を得る。地域、新規顧客の入り口、新たな事業での職員の活性化。

目的：収益源の多角化と成長基盤確立

4. 連携推進による管理部門の一元化と業務効率化

- ・※MUBE との管理部門の一元化 経理・財務・給与から開始 ※別紙参照
- ・コンプライアンスと内部統制や DX 化の推進。資格取得なども含め、効果的な研修や支援の実施

目的：経営管理の高度化と現場負担軽減

III. まとめ

収支改善は、私たち全員の意識改革の成果です。組織風土を変え、目標・挑戦・成長の循環を職員一人ひとりが回すことで、法人の未来を拓くことができます。

今年度は必ず収支を改善し、新規事業への着手と組織の成長につながる挑戦の一年とします。職員が未来に向かって生き生きと働ける法人を、共に築いていきましょう。

※ 社会福祉連携推進法人 MUBE 事業計画

《目的・理念》

社会福祉連携推進法人 MUBE（以下「本法人」という。）は、「みんなが地域の主人公。それぞれの違いを乗り越え、お互いに支え合える地域づくりを推進する」という理念のもと、参画する社会福祉法人が相互に連携し、地域福祉の向上および持続可能な法人経営の実現を図ることを目的として設立される。

本法人は、参画法人がそれぞれの地域で培ってきた知見、人材、資源を有機的に結び付けることで、単独法人では対応が困難な地域課題や経営課題に対しても、連携・協働により対応できる体制の構築を目指す。あわせて、参画法人が将来にわたり安定的かつ主体的に福祉サービスを提供できるよう、経営力の強化および運営基盤の安定化に資する支援体制を構築することを基本方針とする。

本法人が事業を実施する区域は、山口県、熊本県、福岡県、鹿児島県、広島県および岡山県の全域とし、広域的な視点に立って地域福祉ニーズや社会的課題の把握および解決に取り組む。

《業務内容》

1. 地域福祉支援業務 本法人は、参画法人が共同して行う地域福祉の推進に資する事業および活動について、企画、調整および推進を行う。具体的には、地域における福祉ニーズや課題を参画法人間で共有し、関係機関や関係団体との連携を図りながら、地域交流事業、相談支援体制の構築、福祉資源の有効活用等に取り組む。また、事業の実施状況については定期的に検証を行い、必要に応じて内容の見直しや改善を図ることにより、地域社会全体の福祉水準の向上に寄与することを目的とする。
2. 災害時支援業務 本法人は、災害その他の非常事態が発生した場合においても、参画法人が提供する社会福祉サービスを継続的に提供できるよう、利用者および職員の安全確保を最優先とした支援体制の整備を行う。平時から、災害対応計画（事業継続計画を含む。）の策定および見直し、合同訓練や研修の実施、必要な物資の確保ならびに情報共有体制の整備を行い、非常時において迅速かつ的確な対応が可能となるよう支援する。
3. 経営支援業務 本法人は、参画法人が経営する社会福祉事業について、経営管理、業務運営、法令遵守、リスク管理および財務管理等に関する知識、情報およびノウハウの共有を推進する。あわせて、共同研究や合同研修の実施、法人間連携による事業運営の高度化および効率化を図ることで、参画法人全体の経営基盤の強化および運営の質の向上を目指す。
4. 人材確保等業務 本法人は、参画法人が経営する社会福祉事業に従事する人材の確保、育成および定着を目的として、採用活動の支援、教育研修の実施、資格取得支援およびキャリア形成支援等を推進す

る。さらに、法人間の人材交流や労働環境の改善に関する取組を支援し、働き続けやすい職場づくりを促進することで、福祉サービスの質の維持および向上につなげる。

5. 物資等供給業務 本法人は、参画法人が必要とする設備、資器材、物品、情報通信機器等について、共同購入、共同調達、共同備蓄、保守管理および物流体制の整備を推進する。これにより、平時における効率的な物資調達を図るとともに、災害時においても必要な物資を円滑に供給できる体制の構築を目指す。

《事業の推進および評価》

本法人は、前各号に掲げる事業を計画的かつ継続的に実施するため、事業の進捗状況について定期的に確認および評価を行う。評価結果については理事会に報告し、その審議を踏まえ、必要に応じて事業内容や実施方法の見直しを行う。本法人は、参画法人との緊密な連携のもと、地域社会の福祉向上および社会福祉事業の持続的な発展に貢献していくものとする。

《令和8年度》

社会福祉連携推進法人は、参画する各法人の運営に関し、管理業務の一元化及び効率化を図ることにより、経営基盤の安定化と持続可能な法人運営の実現を支援する。具体的には、人事・労務、経理、契約、法令遵守、各種届出事務等の管理機能を集約し、専門性の高い支援体制を構築することで、各法人が本来の事業活動に専念できる環境を整備する。

《令和9年度》

参画法人相互の強みや資源を有機的に結び付け、人的資源、ノウハウ、情報及びシステムの共有を推進することにより、業務の標準化及び質の向上を図る。これにより、個々の法人単独では実現が困難な新規事業の展開、サービスの高度化、人材育成の強化等を可能とし、地域福祉の向上及び法人全体の発展につなげる。

さらに、経営課題の可視化及び分析を通じて、将来を見据えた経営戦略の立案及び実行を支援し、参画法人が次の成長段階へ進むための基盤づくりを行う。

令和 8 年度 特別養護老人ホーム・ショートステイひかりの丘 事業計画

1. 運営方針

基本理念：「一人一人の暮らしを思いやりの心で」

運営方針：「個性を大切にし、その人らしい暮らしを支える」「地域とのつながりを密にし、地域に開かれた施設を目指す」「口腔機能の維持・向上を図り、健康的な生活をサポートする」を基にご利用者の尊厳ある生活を支える。

2. 年度重点テーマ：「地域に選ばれ、職員が誇れる施設づくり」

3. 経営目標 特別養護老人ホーム：稼働率 92%以上 売上 156,000 千円
ショートステイ：稼働率 85%以上 売上 46,700 千円

4 重点取り組み

(1) サービス品質向上と業務効率化

- ・事業間の情報共有と人材連携を強化し、応援体制を構築する。
- ・営業・イベントなど役割を持ち、組織的な運営を行う。
- ・資格取得支援等を通じて職員の専門性向上を図り、利用者の個別対応による満足度向上に努める。
- ・連携推進法人からのコンプラ（法令遵守・内部統制）、DX（事務・記録）等の支援で効率・適正化の促進をする。

（２）地域連携の強化

地域に開かれた施設を目指し、施設見学会や相談会などのイベントを開催する。

また、営業活動等で医療機関や居宅介護支援事業所、地域との関係づくりを進め、施設への認知度と良好な関係を築く。

(3) 働きがいのある職場づくり

事業運営に応じた適正な人員配置やシフトの見直しを行い、業務効率化を図る。

目標に対しての行動と達成により主体的に動く集団へ。管理職・リーダーを軸に、全職員が目標に対して活動や進捗を共有し、理解と参加を図る。

5. 稼働率向上のための取り組み

営業活動を継続実施し、医療機関や居宅介護支援事業所への定期訪問を行い、施設の受け入れ体制や空床情報を積極的に発信する。空床発生時には関係機関へ迅速に情報共有を行い、空床期間の短縮を図る。またショートステイを柔軟に活用することで空床を有効活用し、将来的な入所につながる利用者の確保を進める。

6. 推進体制

事業計画の進捗管理を行うため、組織改革会議、事業所会議の定期開催（月１回）。会議では稼働率、利用状況、職員状況、改善事項等を共有し、PDCA サイクルを回しながら継続的な業務改善とサービス向上を図る。

令和8年度 グループホームひかりの丘 事業計画

管理者 村川・三木

1. 運営方針

基本理念：「一人一人の暮らしを思いやりの心で」

運営方針：「個性を大切にし、その人らしい暮らしを支える」「地域とのつながりを密にし、地域に開かれた施設を目指す」「口腔機能の維持・向上を図り、健康的な生活をサポートする」を基にご利用者の尊厳ある生活を支える。

2. 事業運営計画

- ・ご利用者の高齢化や重度化に伴い、異常の早期発見に努める。
- ・柔軟な勤務体制に対応できるよう、両ユニット間での情報共有や連携を行いケアの質を維持する。
- ・外食レクや合同レクを取り入れ、楽しく生活できる環境を目指す。

3. 令和8年度の目標と取り組み

- ・稼働率 95%・売上 94,000 千円を目標とした運営。
※令和8年度より利用料を1万円引き下げる。
ユニット間の連携強化。空床状況を把握し、見学対応を円滑に行う。
環境整備を行い、快適な住まいとして印象づける。
毎月、営業活動を行い、発信を継続することで相談に繋がる関係性を持つ。
- ・柔軟な勤務に対応できる介護力を身に着ける。
ユニット間や、他事業の各種情報をミーティングで共有する。
介護技術の向上、理解を深める為、オンライン研修など外部の研修に参加する。
学んだ知識や技術を継続していかせる職場づくりを行う。

4. 事業計画（主な行事）

毎月：誕生会

4月：お花見・第1回運営推進会議 6月：第2回運営推進会議

7月：そうめん流し 8月：第3回運営推進会議 9月：敬老祝賀会

10月：第4回運営推進会議 12月：クリスマス会、第5回運営推進会議

1月：初詣（戸の上神社） 2月：節分、第6回運営推進会議

3月：ひな祭り

令和 8 年度 グループホームひかりの道 事業計画

管理者 松下・渡部

1. 運営方針

基本理念：「一人一人の暮らしを思いやりの心で」

運営方針：「個性を大切にし、その人らしい暮らしを支える」「地域とのつながりを密にし、地域に開かれた施設を目指す」「口腔機能の維持・向上を図り、健康的な生活をサポートする」を基にご利用者の尊厳ある生活を支える。

2. 事業運営計画

① 相談しやすい施設づくり（受け身⇒発信型へ）

- ・ 居宅支援事業所・地域連携室等への定期訪問（空室時は週 1 回）により認知度向上。
- ・ 体験入居・運営推進会議の積極活用。
- ・ 空床発生時は関連機関へ迅速に情報共有。

② 職員の意識向上と組織力の醸成

- ・ 入居者の「できる」に着目し、成功事例を共有して前向きなチームづくり。
- ・ 違和感に気づく観察力向上の研修を実施。
- ・ ユニット間・ひかりの丘 GH との協力体制を確立。

③ 生活支援の質向上

- ・ 食事・睡眠・排泄・環境の見直しにより、薬に頼らない穏やかなケアの実践。
- ・ 専門職と連携し、施設内でできる生活支援の改善を推進。
- ・ 疾病の早期発見と重度化予防を徹底。

3. 令和 8 年度の目標と取り組み

- ・ 稼働率 95%・売上 98,600 千円を目標とした運営。
地域や関係機関との信頼関係を深め、選ばれる施設づくり～高稼働率を確保。
疾病の早期発見により再入院予防・入院期間短縮を図る。
- ・ 入居者の「できる力」に着目した個別支援で満足度向上。
- ・ 事業所を超えた協力体制を整備し、職員同士が支え合い、活動性を構築。

4. 事業計画（主な行事）

毎月：誕生会

4 月：お花見ドライブ、昼食レク 5 月：第 1 回運営推進会議 6 月：AED 研修

7 月：第 2 回運営推進会議、そうめん流し 9 月：第 3 回運営推進会議、敬老会

10 月：避難訓練 11 月：第 4 回運営推進会議 12 月：クリスマス会

1 月：第 5 回運営推進会議、食事レク、初詣（戸の上神社）

2 月：節分 3 月：第 6 回運営推進会議、避難訓練

令和 8 年度 デイサービスひかりの丘 事業計画

1. 運営方針

基本理念：「一人一人の暮らしを思いやりの心で」

運営方針：「個性を大切にし、その人らしい暮らしを支える」「地域とのつながりを密にし、地域に開かれた施設を目指す」「口腔機能の維持・向上を図り、健康的な生活をサポートする」を基にご利用者の尊厳ある生活を支える。

2. 事業所概要

営業開始：令和 8 年 7 月 1 日

事業所名：デイサービスひかりの丘

場 所：北九州市門司区上藤松 3-2-1 1F：旧小規模多機能

定 員：20 名

営業曜日：月曜日～土曜日

営業時間：9：30～16：35

3. 事業運営計画

- ・在宅への窓口になるように地域に情報を発信し続ける。
- ・体験デイを積極的に行い、新規事業を知ってもらう。
- ・ケアマネ訪問、空き状況を発信する。
- ・毎月の行事をはじめ、外出（機能訓練）や食事レクを実施し、利用者様が「楽しかった」と言ってもらえるサービスを提供する。

4. 令和 8 年度の目標と取り組み

- ①安定した事業運営のため、目標の利用者数をを目指す。
- ②安全で安心な楽しいサービス提供を行い、事故の防止に努める。
- ③関係機関との連携を強化し、利用者の在宅生活を支援する。

5. 令和 8 年度の売上・人数目標

	R8.4月	R8.5月	R8.6月	R8.7月	R8.8月	R8.9月	R8.10月	R8.11月	R8.12月	R9.1月	R9.2月	R9.3月	
売上				585	585	780	810	1,125	1,215	1,535	1,440	2,025	(千円)
人数(1日当たり)				3	3	4	4	6	6	8	8	10	(人)

6. 事業計画（主な行事）

毎月：誕生会

7 月：七夕(徳力神社) 8 月：夏祭り(わっしょい百万夏まつり)

9 月：敬老会(高齢者ふれあい入浴の日) 10 月：運動会(小倉駅 JAM 広場)

11 月：紅葉ドライブ(河内貯水池・河内藤園) 12 月：X'mas 会(リバーウォーク)

1 月：初詣(戸の上神社) 2 月：節分(八坂神社節分祭)

3 月：ひな祭り(門司港レトロひな祭り)